

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室『クラ・ゼミ』郡山昭和校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 14日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 専門的支援体制が整っていること。	保育士経験5年以上の職員がそろっており、豊富な知識を活かし支援に取り入れることや、保護者への助言に繋がるように取り組んでいる。	今後も、専門知識を活かし、プログラムを考案していく。また、保護者支援にも力を入れていく。
2	・ 指導員がマンツーマンで対応する、個別支援を行っていること。	利用者様一人ひとりの特性を把握し、それに合わせた支援内容を考えて個別支援を行っている。	今後も、保護者様や利用者様のニーズと照らし合わせ、一人ひとりに合わせた支援を提供していく。
3	・ 指導員同士の情報共有が随時行われているところ。	指導員全員が利用者様の特性や様子等を日頃から共有しており、よりよい支援に繋げる事を工夫している。	特性の種類や利用者様の強みや弱みを全員で知り、さらに支援の内容や質の向上を目指す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 療育時間が約1時間と短いところ。	・ 45分の療育+フィードバックな為、他事業所と比べると利用者様の支援をしている時間が短い、事業所としては、利用者様の集中が続く最大の時間で設定している。	・ 現在は、グループ療育（2時間）を提供している。グループ療育や長めの時間の療育へのニーズが高まってきた際は、検討していく。
2	・ 送迎をしていないところ。	・ 療育時間や送迎車、職員の体制が整わず難しい現状。 また、フィードバックの関係で保護者様のご協力を頂いている。	・ 年々送迎ニーズが高まってきている。しかし、現状では難しい。その理由をしっかりと保護者様へお伝えしていく。
3	・ 施設が狭いところ。	・ 個別の活動では、パーテーションを使用しながら、狭すぎず広すぎない支援室を提供している。しかし、粗大運動等激しい活動をする際は、ホールが狭く難しい。	・ 机や椅子の配置を工夫する。また、パーテーションでのしきりの間隔を狭める等の工夫を行うが、限界がある。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室『クラ・ゼミ』郡山昭和校

公表日 2025年 2月 1日

利用児童数

27名

回収数

23名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	3	1	0	・少し狭い気がします。	・活動に合わせて、パーティション等を利用しながらスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	0	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	5	3	2	・階段が急で少し怖い。 ・階段が急なのと、手すりがあれば子どもが昇り降りしやすいと思います。トイレも台があると安心してトイレが出来ると思います。	・バリアフリーに関しては、不足な部分がある為、大家さんと相談を続けております。 ・踏み台に関しては、準備させていただきました。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	2	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	2	0	3		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	3	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1	0	0	・最近では集団支援も行われ、子どもも楽しんでいます。	・継続して開催していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	7	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3	3	5		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	23	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	3	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	8	7		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2	0	2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	3	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	4	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	3	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	2	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	1	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	2	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	2	0	1	・ 集団支援はとても楽しみにしています。	・ 利用者様のニーズに合わせた療育内容を提供していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室『クラ・セミ』郡山昭和校		公表日		2025年 2月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6	0	・法律に基づき、人員配置を行っております。	・今後も法律に基づき、人員配置を行っていきます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		2	4	・可能な限り同じ支援室を使用し活動しています。 ・バリアフリーに関しては、不足部分(急な階段等)もある為、大家さんと相談を続けております。	・バリアフリーに関しては、不足部分(急な階段等)もある為、大家さんと相談を続けております。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	0	・清掃、消毒、換気を適切に行っております。	・定期的な清掃、消毒、換気を継続し、安心して通所できる環境を整えていきます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	0	・活動する中で、個別の部屋を使用し過ごせる環境を整えています。	・集団活動を行う際にも、お子さんの様子に合わせて個別の部屋を準備し、落ち着ける空間を設けております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		6	0	・職員間で定期的に、業務改善について話し合いを行っております。	・今後も職員間でもフィードバックを行い、業務改善に繋げていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	・毎年、保護者様に評価表をお願いし、内容や改善点を職員間で、話し合いを行っております。	・評価を頂いた内容、課題に関し迅速に対応できるものは対応させて頂き、難しい際も解決できるように継続して話し合いを重ねていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	・支援前後で、職員同士話し合う場を設け改善に繋げております。	・今後も継続して職員同士円滑な話し合いを行いながら、業務改善に努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		0	6	・現在、実施はしておりません。	・今後実施予定はありませんが、必要に応じて検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6	0	・内部研修、外部研修に定期的に参加し、技術の向上に繋げています。	・全員が内容を周知できるように記録を残し、全体的な技術向上に繋げています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	0	・支援プログラムが固定化しないように配慮し作成しております。 また、本年度から支援プログラムの公表は義務化されており、都道府県に届出をしております。	・利用者様の様子や成長に合わせ、職員同士で話し合いを行いながら、プログラムを作成してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		6	0	・年々送迎ニーズが高まってきている。 しかし、現状では難しい。その理由をしっかりと保護者様へお伝えしていく。	・今後も保護者様のニーズや利用者様の様子を考慮し、作成してまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6	0	・職員会議を開き、全体で確認しながら計画を作成しております。	・継続して、職員全体で確認し利用者様にとって最善の利益を考慮した計画を作成してまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6	0	・計画内容を会議にて全員で共有しております。また、計画に沿ったプログラムを実施しております。	・今後も職員間で内容を共有しながら、計画に沿った支援を行っていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6	0	・アセスメント表を元に、日々の行動観察を行いながら、状況の確認しております。	・定期的にあセスメント表を元に、適応行動の状況を確認してまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6	0	・児童発達支援ガイドラインに沿って、ねらい及び支援内容を設定しております。その中で、利用者様のニーズに合わせながら支援内容を組み立てております。	・今後もガイドラインに沿った、支援計画書を作成してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6	0	・前回の支援の様子を共有したり、次の支援内容を話し合い、相談しながらプログラムを立案しております。	・継続して、職員全体で話し合いながら活動プログラムを立案してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		6	0	・毎回異なるプログラム、個別、グループ療育に合わせる工夫をしております。	・前回の支援内容や利用者様の様子を確認し、活動プログラムが固定化しないように作成してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		6	0	・計画書には、個別と集団活動を組み合わせる作成しております。 また、月1回のグループ療育も開催しております。	・利用者様の成長段階を確認しながら個別活動、集団活動を組み合わせた支援を行っていきます。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・入念に引き継ぎを行い、職員同士連携して支援を行っております。	・職員同士話し合い、連携して全体で支援が行えるように努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	0	・振り返りの内容や気づいた点を話し合い、次回の支援に繋げています。	・当日で打ち合わせが難しい際は、必ず翌日や会議等を通して話し合いを行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・支援終了後は記録を書き、次回の支援の改善に繋げております。	・定期的に全体で記録の確認を行っております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・6か月に1回、児発管が行い、計画の見直しもさせて頂いております。	・定期的なモニタリング面談を通して、利用者様のニーズに合わせた個別支援計画を立案し、提供させていただきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・主に児発管が参加し、必要に応じて担当職員も参加しております。	・サービス担当者会議等の会議等の内容をもとに、情報共有しながら、支援に取り入れていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・月に1回、地域の相談支援事業所等を訪問し、利用者様の様子を共有させて頂いております。	・月に1回の訪問以外にもご要望があれば利用者様の様子を共有していきながら、連携に力を入れていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・保護者様のご希望があれば、通所している園や事業所などと、情報共有や相互理解を図る為の訪問を行っております。	・ご要望に応じて、通所している園や事業所等へ訪問を行いながら、情報共有や相互理解を図っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・必要に応じて、サービス担当者会議に参加し、情報共有や相互理解を図っております。	・就学児のサービス担当者会議等に参加し、保護者様や小学校等と情報共有や相互理解を図っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	・児発、放デイ連絡会を通じて、地域の支援センターの方とお会いし、助言等頂いております。	・今後も、積極的に児発・放デイ連絡会に参加していきます。また、地域の支援センターの方から頂いた助言等を、支援で活かしていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	・現在の所、事業所として地域の園等と交流する機会はありません。個々で、通所している園がある為、個々で交流する機会があります。	・保護者様の中で、ニーズが高まってきた際には検討させて頂き開催の場を設けていきたいと考えております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・支援終了後のフィードバックや家族支援(面談)等を通して、保護者様との共通理解を図っております。	・フィードバック等を通して、保護者様との共通理解を図っていきます。また、お困りごと等もお聞きしながら、課題解決に向けて相互理解も図っていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・児発管、指導員が参加しております。「きらひひろば」を通じてお知らせしたり、保護者様に情報提供を行っております。	・プログラムを保護者様にわかりやすく提示しながら、積極的に取り組めるよう工夫していきます。	
保護者への説明	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・詳しい内容については、契約時に説明させて頂いております。	・契約時や適宜、丁寧に説明させていただきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・フィードバックの際にご家族様の意向を確認させて頂いております。	・ご家族様やご本人様の意向をしっかり傾聴し、支援計画の作成に努めてまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・面談日を設け、児発管から支援内容の説明を行い、同意を頂いております。	・児発管が、面談日に利用者様に合った計画を具体的に説明し、提示させていただきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・毎回のフィードバック時や、家族支援(面談)を設け、必要な助言や支援を行っております。	・今後も、ご家族様や利用者様に寄り添い、フィードバックや家族支援を設けながら、助言や支援を行っていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	・保護者会に関しては、保護者様の中で、ニーズが高まってきた際には検討させて頂き開催の場を設けていきたいと考えております。 ・兄弟同士で交流する機会は、イベント等のグループ療育時に行う時もあります。	・保護者様の中で、ニーズが高まってきた際には検討させて頂き開催の場を設けていきたいと考えております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・早急に対応しております。頂いた内容を職員間で共有し、再発防止や適切な体制を整えるよう、努めております。	・頂いた内容は迅速に対応、職員間で共有し、再発防止に努めていきます。

守	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・xやInstagram、lineなどを通して、情報をお伝えしております。	・クラ・ゼミの活動の様子や情報等を積極的にお伝えしていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・「個人情報に関する同意書」を契約時に説明させて頂き、厳重に扱わせて頂いております。また、鍵付きのロッカーで保管をさせて頂いております。	・引き続き、厳重に扱わせて頂きます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・プライバシーに留意し行わせて頂いております。	・継続して、プライバシーを保護しながら行わせていただきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	・「きらりひろば」等で地域の方向けに事業所を招待する活動を行っております。見学や体験は随時募集している旨も、お伝えさせて頂いております。	・今後も、積極的にポスターやSNS等を通じて周知していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・契約時にそれぞれのマニュアルについて説明するとともに、掲示等にて周知させて頂いております。実際の発生を想定した防災訓練は、毎月実施しております。	・保護者様にも分かりやすい周知を心がけていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・BCPの策定と発生に備えた、防災訓練は毎月1度行っております。	・定期的な訓練を行いながら災害等に備えていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時に服薬や発作の確認はさせて頂いております。契約後も変わった事があった際は、お知らせいただくようお願いしております。	・今後も保護者様へ情報提供のご協力をいただき、職員間で周知を図っていきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・事前に食物アレルギーの確認をさせて頂いております。食事支援は行っておりませんが、おやつ提供等ある際は、事前に再確認もさせて頂いております。	・必要に応じて保護者様へ確認を行い、安全配慮へ動めていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全計画の作成、研修等を行い支援を行っております。	・必要に応じた安全計画の見直し、研修や訓練等の実施を行ってまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約時に安全確保に関してお伝えしております。	・契約時にもお伝えはしておりますが、お問い合わせ等があった際には、再度ご説明させて頂きます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハットがあった際は、職員全員で共有、再発防止の為に会議をさせて頂いております。	・ヒヤリハットになる前に気づき、対策を行いながら未然に防ぐことが出来るよう、配慮していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・年に1回以上の虐待防止に関する研修を行っております。	・今後も、研修等で知識を深め、職員間で意識しながら防止に努めていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・契約時に、身体拘束について、お知らせと同意を得ております。また、支援計画にも記載しております。	・やむを得ず行う場合は、安全確保を行った上で対応させて頂けます。また、拘束に至った経緯もしっかりとご説明させて頂きます。